

高知県感染症発生動向調査（週報）

2015年 第51週 （12月14日～12月20日）

★お知らせ

○A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎に気を付けて！

定点医療機関からの報告数は第50週の2.93から第51週では2.43と減少していますが、須崎、中央西、中央東で増加し、須崎では注意報値を超えています。

全国では過去5年間の同時期と比較してかなり高い値が続いており、引き続き注意が必要です。

通常、患者との接触を介して伝播するため、ヒトとヒトとの接触の機会が増加するときに起こりやすく、家庭、学校などの集団での感染も多くなります。乳幼児では咽頭炎、年長児や成人特に妊婦では扁桃炎が現れ重症化することもあるため、うがい、手洗いなどの一般的な予防法を励行しましょう。

○百日咳に注意して！

定点医療機関当たりの報告数は第50週の0.07から第51週では0.03と急減していますが、中央東では注意報値を超えています。

患者の咳やくしゃみ、唾などのしぶきに含まれている百日咳菌を吸い込むことによって感染しますので、「咳エチケット」に心がけてください。また、乳幼児は予防接種を受けることで感染を防ぐことができます。

ワクチンは生後3ヶ月から接種可能ですので、かかりつけ医と相談し、出来るだけ早く接種しておくことをお勧めします。

○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第50週の6.37から第51週では8.20と増加し、須崎以外で増加しています。また、定点医療機関からのホット情報ではカンピロバクター感染症が3例、ノロウイルスが22例、ロタウイルスが4例報告されています。

毎年この時期からノロウイルスなどの感染性胃腸炎の報告数が増えてきます。この病気は腹痛、嘔吐、下痢、発熱を主な症状とし、冬場に流行する代表的な感染症です。乳幼児に好発し、1歳以下の乳児は症状の進行が早いのが特徴です。37～38℃の発熱がみられることもあります。年長児では吐き気や腹痛がしばしばみられます。特にノロウイルスを原因とする場合、学校や社会福祉施設など集団生活の場で大規模な流行となることもあり注意が必要です。予防法で最も大切なのは手洗いです。排便後、また調理や食事の前には石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

○マイコプラズマ肺炎に気を付けて！

第51週は基幹定点から8例、定点医療機関からのホット情報で1例、学校欠席者情報収集システムでは11件の報告がありました。

マイコプラズマ肺炎の定点当たりの報告数が8月上旬から増えています。10月上旬からはホット情報でも報告数が増加していますので注意しましょう。

マイコプラズマ肺炎の発生動向とその予防対策

マイコプラズマ肺炎は、肺炎マイコプラズマ(*Mycoplasma pneumoniae*)という細菌によって引き起こされ、激しい乾いた咳、発熱、全身倦怠感が主な症状で、学校、幼稚園、保育園、家庭等で地域的に集団発生すると言われています。好発年齢は、6～12歳の小児であり、小児では発生頻度の高い感染症の一つです。潜伏期は2～3週間とされ、飛沫で感染します。異型肺炎像を呈することが多いです。頑固な咳嗽と発熱を主症状に発病し、中耳炎、胸膜炎、心筋炎、髄膜炎などの合併症を併発する症例も報告されています。重症肺炎となることもありますので注意が必要です。予防方法としては、手洗い・うがい・マスクの着用による一般的な予防方法の励行と早期の医療機関受診を心がけてください。

インフルエンザについて

これからの時期は、空気も乾燥し、インフルエンザウイルスが活動しやすい時期となります。
第 51 週はインフルエンザ定点医療機関からインフルエンザ A 型の報告が 2 件ありました。

インフルエンザの流行期は、12 月下旬～3 月上旬です。

予防接種は、お早めに！

(予防接種のワクチンには、インフルエンザウイルスに感染した場合に発症を一定程度抑える効果や重症化を予防する効果が認められています。)

インフルエンザの飛沫感染対策

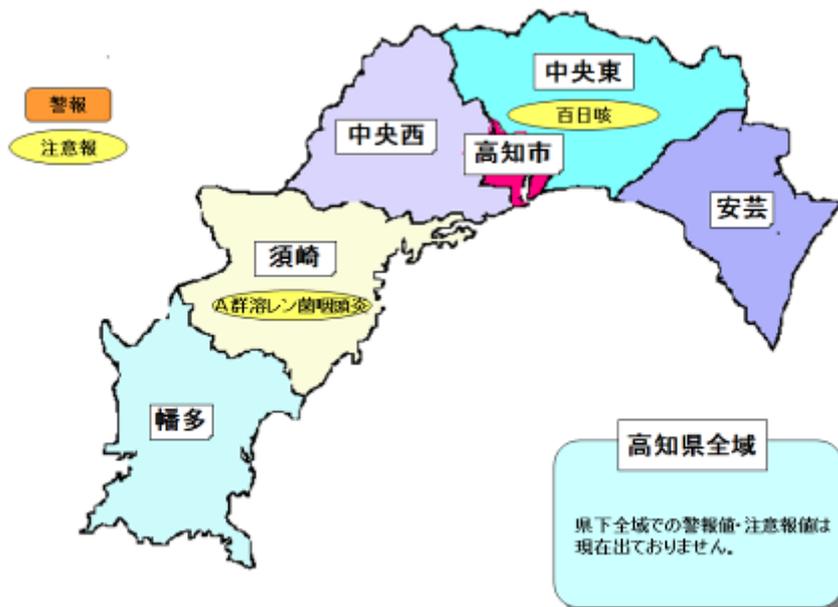
- (1) 普段から皆が咳エチケットを心がけるとともにくしゃみを他の人に向けて発しないこと
- (2) 咳やくしゃみが出るときはできるだけマスクをすること
- (3) 手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うこと 等

★県内での感染症発生状況

定点把握感染症 (上位疾患) ↑ : 急増 ↗ : 増加 → : 横ばい ↘ : 減少 ↓ : 急減
51 週 (12月14日～12月20日)

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎	↗	8. 20	須崎以外で増加しています。
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↘	2. 43	須崎、中央西、中央東で増加し、須崎では注意報値を超えています。
RS ウイルス感染症	→	0. 70	須崎、高知市で増加しています。
伝染性紅斑	↑	0. 37	高知市、中央東で増加しています。
流行性耳下腺炎	→	0. 37	高知市、中央西で増加しています。

★地域別感染症発生状況



★気をつけて！

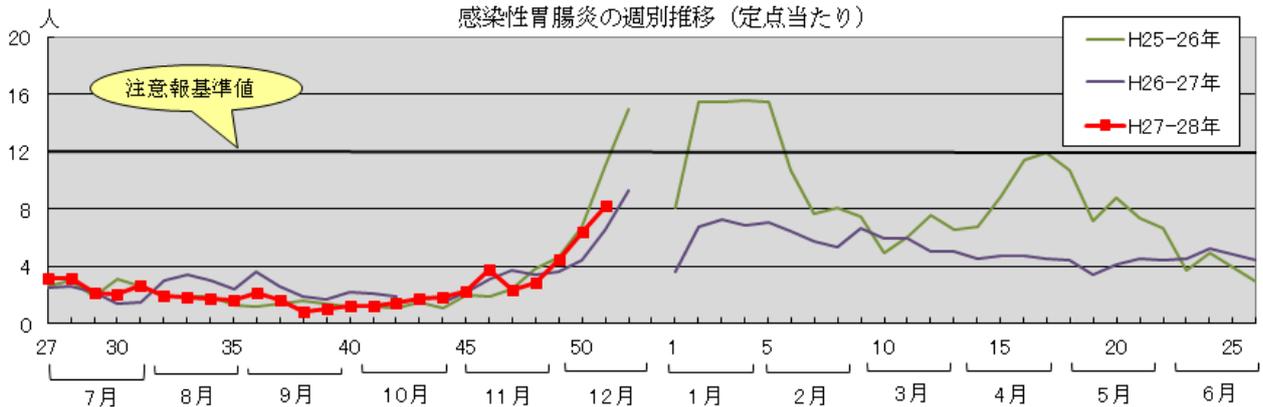
○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：2.43（注意報値：4.00 警報値：8.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 2.43（前週 2.93）と減少しています。地域別にみると、須崎 5.00（前週 2.50）、中央西 3.67（前週 2.67）、中央東 2.14（前週 1.29）で増加し、須崎では注意報値を超えています。



○感染性胃腸炎：8.20（注意報値：12.00 警報値：20.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 8.20（前週：6.37）と増加しています。地域別にみると、高知市 11.36（前週 9.73）、中央東 10.43（前週 6.43）、安芸 9.00（前週 4.00）、中央西 3.67（前週 3.33）、幡多 1.80（前週 1.40）で増加しています。



※グラフの途切れについて

H27-H28年は第53週までであるため、今週よりグラフ横軸に第53週を挿入しています。そのため、H25-H26年とH26-H27のグラフ第52週～第1週間に途切れが生じています。

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
51	感染性胃腸炎	2	女	須崎	Norovirus GII NT
51	感染性胃腸炎	3	男	須崎	Norovirus GII NT
51	感染性胃腸炎	5	男	須崎	Norovirus GII NT
51	リンゴ病	6	男	須崎	Rhinovirus

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
50	喘息性気管支炎	5ヶ月	女	幡多	Adenovirus 1
50	けいれん群発	1	男	中央東	Coxsackievirus A9
50	不明発疹症	7ヶ月	女	須崎	Rhinovirus

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
49	不明熱	1	女	高知市	Adenovirus 2

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
48	不明発疹症	1	女	須崎	Rhinovirus

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
46	リンゴ病	3	男	須崎	human parvovirus B19 virus

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	1	129	60歳代男	高知市
5類	梅毒	1	11	80歳代男	

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
中央東	早明浦病院小児科	保育所で溶連菌感染症増加
	あけぼのクリニック	カンピロバクター腸炎 1例 (2歳女)
		アデノウイルス感染症 3例 (10ヶ月女、1歳男女)
		RSウイルス感染症 3例 (2ヶ月女、2歳男、3歳男)
	野市中央病院小児科	百日咳 1例 (44歳男) (PT-IgG160以上)
高知市	けら小児科・アレルギー科	ヘルペス性歯肉口内炎 1例 (7歳女)
		病原性大腸菌 O-18 1例 (3歳男)
		病原性大腸菌 O-142 1例 (50歳男)
		ノロウイルス 4例 (0歳男女、1歳男 2人)
		カンピロバクター 1例 (11歳男)
		ロタウイルス 3例 (4歳女、5歳男、23歳女)
	国立病院機構高知病院小児科	アデノウイルス扁桃炎 2例 (1歳男、6歳男)
	細木病院小児科	感染性胃腸炎の10ヶ月女児はロタウイルス罹患
	福井小児科・内科・循環器科	ノロ 15例 (8ヶ月女、10ヶ月男 2人、11ヶ月女、1歳男 4人、1歳女 5人 3歳男、6歳男)
		伝染性紅斑 2例 (2歳女、13歳男)
		RSウイルス感染症 1例 (1歳女)
	三愛病院小児科	胃腸炎、溶連菌感染症がはやっている。
高知医療センター小児科	アデノウイルス感染症 1例 (3歳男)	
	ノロウイルス 3例 (1歳女 2人、2歳男)	
	カンピロバクター 1例 (3歳女)	
	病原性大腸菌 2例 (0ヶ月男、3歳女)	
	インフルエンザウイルス検出なし	
中央西	日高クリニック	アデノウイルス扁桃炎 2例 (1歳男女)
		マイコプラズマ肺炎 1例 (11歳女)
須崎	もりはた小児科	溶連菌感染症の流行が続く
		感染性胃腸炎が増加
		50週 カンピロバクター腸炎 1例 (1歳女)

★全国情報

第49週（11月30日～12月6日）

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核341例

3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症29例、腸チフス1例、パラチフス2例

4類感染症：E型肝炎2例、A型肝炎4例、重症熱性血小板減少症候群2例、つつが虫病36例、
レジオネラ症37例、レプトスピラ症1例

5類感染症：アメーバ赤痢13例、ウイルス性肝炎1例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症14例、
急性脳炎8例、クロイツフェルト・ヤコブ病4例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症6例、
後天性免疫不全症候群19例、侵襲性インフルエンザ菌感染症4例、侵襲性肺炎球菌感染症31
例、水痘（入院例に限る）7例、梅毒44例、播種性クリプトコックス症2例、風しん3例

報告遅れ：つつが虫病7例、レプトスピラ症2例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症18例、
急性脳炎6例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、水痘（入院例に限る）3例、播種性クリ
プトコックス症4例

※第52週（12月21日から27日）の週報は、年末年始のお休みの影響で報告が遅れるため、
第53週との合併号として、平成28年1月6日（水）に発行します。

高知県感染症情報(58定点医療機関)

第51週 平成27年12月14日(月)～平成27年12月20日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第51週							計	前週	全国(50週)	高知県(51週末累計)		全国(50週末累計)
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	H26/12/29～H27/12/20				H26/12/29～H27/12/13		
インフルエンザ	インフルエンザ				2				2	4 (0.08)	7 (0.15)	1,690 (0.34)	15,389 (320.60)	1,158,675 (235.26)	
小児科	咽頭結膜熱			4	4				2	10 (0.33)	2 (0.07)	2,010 (0.64)	165 (5.50)	66,881 (21.25)	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	15	31	11	10		5	73 (2.43)	88 (2.93)	10,541 (3.34)	2,907 (96.90)	376,195 (119.54)		
	感染性胃腸炎	18	73	125	11	10		9	246 (8.20)	191 (6.37)	32,022 (10.14)	6,144 (204.80)	907,719 (288.44)		
	水痘		1	3				2	6 (0.20)	9 (0.30)	2,220 (0.70)	554 (18.47)	70,926 (22.54)		
	手足口病								()	()	565 (0.18)	2,502 (83.40)	380,833 (121.01)		
	伝染性紅斑		1	8	1	1			11 (0.37)	5 (0.17)	2,513 (0.80)	208 (6.93)	92,625 (29.43)		
	突発性発疹	2	1	1	2			1	7 (0.23)	12 (0.40)	1,451 (0.46)	650 (21.67)	81,699 (25.96)		
	百日咳		1						1 (0.03)	2 (0.07)	32 (0.01)	25 (0.83)	2,569 (0.82)		
	ヘルパンギーナ								()	1 (0.03)	125 (0.04)	962 (32.07)	97,958 (31.13)		
	流行性耳下腺炎				10	1				11 (0.37)	12 (0.40)	2,677 (0.85)	754 (25.13)	73,555 (23.37)	
RSウイルス感染症			4	12	1	4			21 (0.70)	22 (0.73)	7,469 (2.36)	1,108 (36.93)	104,060 (33.07)		
眼科	急性出血性結膜炎								()	()	10 (0.01)	()	466 (0.68)		
	流行性角結膜炎				1				1 (0.33)	()	554 (0.81)	16 (5.33)	23,582 (34.33)		
基幹	細菌性髄膜炎								()	1 (0.13)	9 (0.02)	9 (1.13)	424 (0.89)		
	無菌性髄膜炎								()	2 (0.25)	25 (0.05)	16 (2.00)	1,016 (2.13)		
	マイコプラズマ肺炎	1		5				2	8 (1.00)	10 (1.25)	377 (0.80)	305 (38.13)	9,386 (19.72)		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)			4					4 (0.50)	3 (0.38)	15 (0.03)	60 (7.50)	385 (0.81)		
	感染性胃腸炎			1					1 (0.13)	()	40 (0.08)	88 (11.00)	4,207 (8.84)		
計(小児科定点当たり人数)			22 (10.50)	100 (14.27)	207 (17.76)	27 (9.00)	25 (12.50)	23 (4.05)	404 (12.94)		64,345	31,862 (853.23)	3,453,161		
前週(小児科定点当たり人数)			10 (5.00)	64 (8.86)	214 (18.22)	32 (10.26)	23 (11.50)	24 (4.45)		367 (11.62)					

注 () は定点当たり人数。

高知県感染症情報(58定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第51週							計	前週	全国(50週)	高知県(51週末累計)		全国(50週末累計)
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	H26/12/29～H27/12/20				H26/12/29～H27/12/13		
インフルエンザ	インフルエンザ				0.13				0.25	0.08	0.15	0.34	320.60	235.26	
小児科	咽頭結膜熱				0.57	0.36			0.40	0.33	0.07	0.64	5.50	21.25	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	2.14	2.82	3.67	5.00		1.00	2.43	2.93	3.34	96.90	119.54		
	感染性胃腸炎	9.00	10.43	11.36	3.67	5.00		1.80	8.20	6.37	10.14	204.80	288.44		
	水痘		0.14	0.27				0.40	0.20	0.30	0.70	18.47	22.54		
	手足口病										0.18	83.40	121.01		
	伝染性紅斑		0.14	0.73	0.33	0.50			0.37	0.17	0.80	6.93	29.43		
	突発性発疹	1.00	0.14	0.09	0.67			0.20	0.23	0.40	0.46	21.67	25.96		
	百日咳		0.14						0.03	0.07	0.01	0.83	0.82		
	ヘルパンギーナ									0.03	0.04	32.07	31.13		
	流行性耳下腺炎				0.91	0.33				0.37	0.40	0.85	25.13	23.37	
RSウイルス感染症			0.57	1.09	0.33	2.00			0.70	0.73	2.36	36.93	33.07		
眼科	急性出血性結膜炎										0.01		0.68		
	流行性角結膜炎				1.00				0.33		0.81	5.33	34.33		
基幹	細菌性髄膜炎									0.13	0.02	1.13	0.89		
	無菌性髄膜炎									0.25	0.05	2.00	2.13		
	マイコプラズマ肺炎	1.00		1.00				2.00	1.00	1.25	0.80	38.13	19.72		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)			0.80					0.50	0.38	0.03	7.50	0.81		
	感染性胃腸炎			0.20					0.13		0.08	11.00	8.84		
計(小児科定点当たり人数)			10.50	14.27	17.76	9.00	12.50	4.05	12.94			853.23			
前週(小児科定点当たり人数)			5.00	8.86	18.22	10.26	11.50	4.45		11.62					

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869